

公益財団法人第一三共生命科学研究振興財団(理事長 眞鍋 淳)は、先般開催しました第34回理事会において、2019年度海外共同研究支援助成7名並びに2019年度研究会・シンポジウム開催助成3名の採択者を決定しましたのでお知らせいたします。

海外共同研究支援助成は、海外の学者との共同研究を行っている日本国内在住の生命科学分野を専攻する研究者で、海外の研究者との共同研究を目的とした海外渡航或いは海外の研究者を招聘する研究者に対して助成を行うことを目的としております。

研究会・シンポジウム開催助成は、生命科学分野に関する国際シンポジウムの中で過去に海外で開催され、助成対象期間に日本にて開催される国際シンポジウムの開催に対して助成を行うことを目的としております。

2019年度海外共同研究支援助成は22件、2019年度研究会・シンポジウム開催助成は16件の応募の中から厳正に選考を行い以下の研究者が採択されました。

**公益財団法人第一三共生命科学研究振興財団**  
2019年度海外共同研究支援助成、2019年度研究会・シンポジウム開催助成採択者

【海外共同研究支援助成】7名(1件当たり50万円)

(50音順 敬称略)

氏名	所属機関	共同研究者	共同研究テーマ
伊川 友活	東京理科大学生命医科学研究所	Cornelis Murre Department of Molecular Biology, University of California, San Diego USA	新規non-coding RNA ThymoDのT細胞分化における機能解析
上原 亮太	北海道大学大学院先端生命科学研究院 上原研究室	MISHRA Mithilesh Tata Institute of Fundamental Research, India	光運動制御技術による細胞質分裂の物理メカニズムの解明
河部 剛史	東北大学大学院医学系研究科 病理病態学講座 免疫学分野	Alan Sher, Ph.D. Immunobiology Section, Laboratory of Parasitic Diseases, National Institute of Allergy and Infectious Diseases, National Institutes of Health, USA	新規のT細胞「MP細胞」の分化機構の解明
齋尾 智英	北海道大学大学院理学研究院 化学部門 構造化学研究室	Gottfried Otting The Australian National University Australia	常磁性プローブを用いた構造解析による小胞体内タンパク質品質管理機構の解明
SHARIF JAFAR	理化学研究所 生命医科学研究センター 免疫器官形成研究チーム	Jens C Schwamborn Luxembourg Center for Systems Biomedicine (LCSB) Luxembourg	中脳オルガノイド培養系を用いた特発性パーキンソン病の分子基盤解析
中奥 敬史	国立がん研究センター研究所 ゲノム生物学研究分野	Neil McDonald Signalling and Structural Biology Laboratory, The Francis Crick Institute, UK	キナーゼのアロステリック機構を指標としたRET阻害剤の開発
原田 浩	京都大学大学院生命科学研究科 がん細胞生物学分野	Gregg L. SEMENZA Johns Hopkins University USA	細胞の低酸素応答機構とがん抑制機構のクロストーク

【研究会・シンポジウム開催助成】3名(1件当たり50万円)

(50音順 敬称略)

氏名	所属機関	研究会・シンポジウム
石野 良純	九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門	第15回国際好熱菌学会 九州大学 医学部 百年講堂 2019年9月2日から2019年9月6日まで
西増 弘志	東京大学大学院理学系研究科生命科学専攻	第3回ゲノム編集国際会議 神戸コンベンションセンター 2019年11月25日から2019年11月27日まで
原 英二	大阪大学微生物病研究所	国際細胞老化研究会(ICSA) 2020年度学術会議 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪) 2020年11月2日から2020年11月5日まで